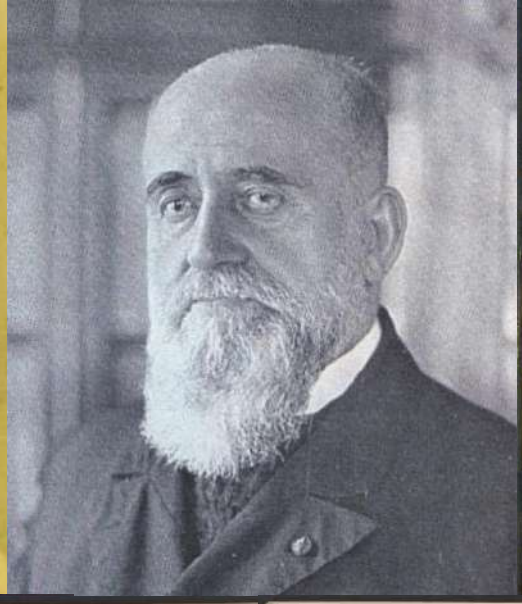
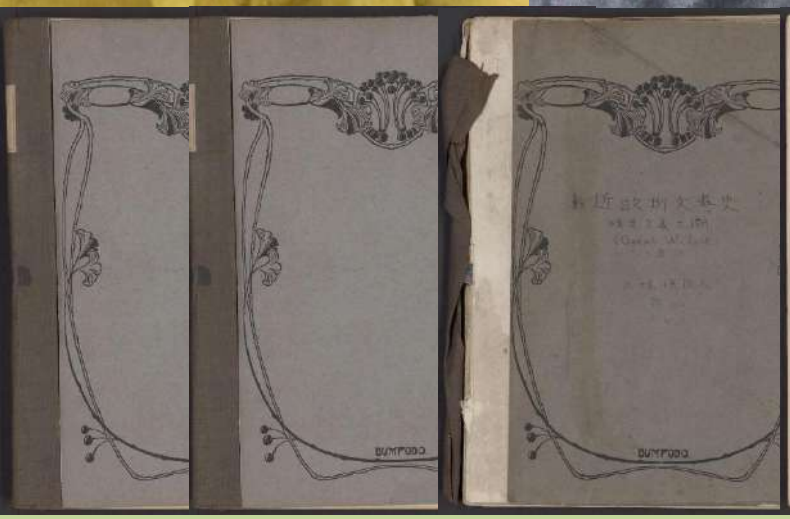
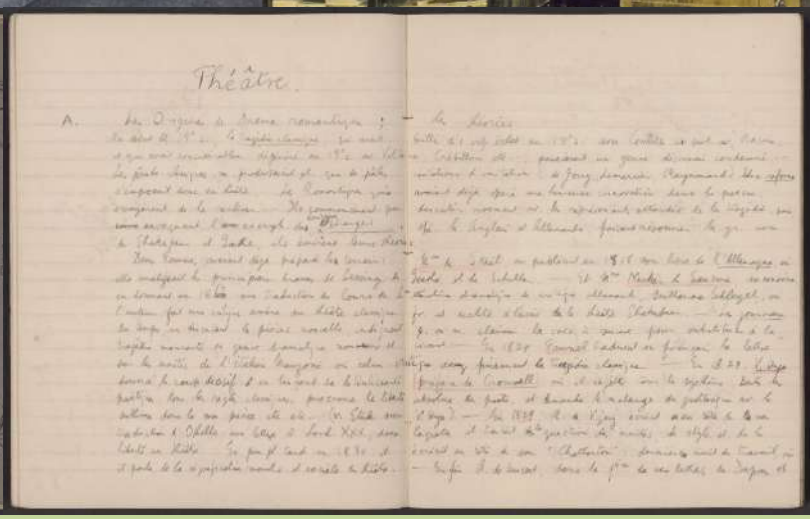



シンポジウム

フランス文学に魅せられて　鈴木信太郎の青春Ⅱ

～東京帝国大学在学中の受講ノートを読み解く～

日時

2026年12月19日(土)
13:00～15:50（開場:12:30予定）

会場

南大塚地域文化創造館
第1会議室

【申込方法】　※申し込み期間：11月15日～12月13日（先着順。定員に達し次第締め切ります）

●としま未来文化財団WEBサイト内情報ページの申込フォームに必要事項を入力し送信してください。
　右記の二次元コードから申込フォームを表示できます。

●定員：50名

●お問い合わせ
　南大塚地域文化創造館　TEL 03-3946-4301（休館日を除く9:00～21:00）
　〒170-0005 豊島区南大塚2-36-1

主催
公益財団法人としま未来文化財団
京都大学人文科学研究所附属人文情報学創新センター
豊島区立鈴木信太郎記念館

フランス文学に魅せられて　鈴木信太郎の青春Ⅱ
～東京帝国大学在学中の受講ノートを読み解く～

鈴木信太郎（1895-1970）は、日本における本格的なフランス文学研究の礎を確立したフランス文学者です。2025年に開催したシンポジウムでは、信太郎が1916年に入学した東京帝国大学で受講していた講義を記録したノートを紐解き、彼が受けていた講義の内容を検証しました。今回のシンポジウムでは、昨年に引き続いて信太郎の受講ノートを詳しく読み解き、大正期の東京大学の講義を通じて学生達がどのようにフランス文学を学び、受容していたのかを分析します。

プログラム

13:00～13:05	開会挨拶
13:05～13:10	趣旨説明 森本 淳生（もりもと あつお）　京都大学人文科学研究所 教授
13:10～13:30	鈴木信太郎の直筆ノートについて 奥村 景子（おくむら けいこ）　豊島区立鈴木信太郎記念館 学芸研究員
13:30～13:50	報告①　エミール・エックの語るヴィクトル・ユゴー――受講ノート『文学史概説 II』を読む 学谷 亮（がくたに りょう）　中央大学文学部 准教授
13:50～14:10	報告②　日本哲学史の観点から読み解く信太郎の受講ノート« Pascal » 藤貫 裕（ふじぬき ゆう）　京都大学大学院文学研究科 研究員
14:10～14:30	報告③　ヴォルテールの世紀と鈴木信太郎――受講ノートより 菅原 百合絵（すがわら　ゆりえ）　京都大学人文科学研究所 准教授
14:30～14:45	休憩
14:45～15:45	パネルディスカッション
15:45～15:50	閉会挨拶

総合司会：森本 淳生　コメンテーター：大出 敦（おおで あつし）　慶應義塾大学法学部 教授

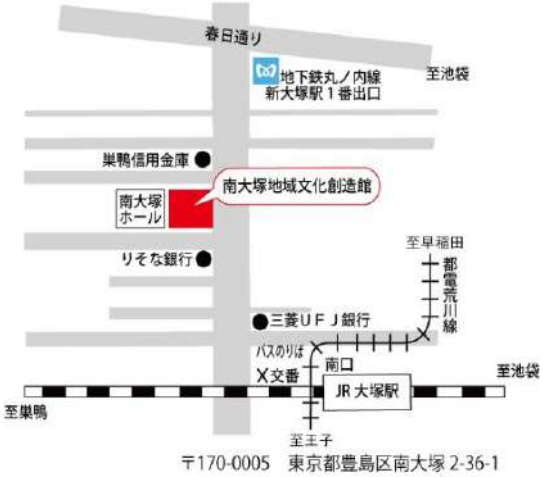
【表面図版】左上から：1925年の信太郎の肖像写真、東京帝国大学のフランス人講師（信太郎の恩師）エミール・エックの肖像写真、書斎の机に向かう信太郎（1949年）、信太郎の受講ノート表紙（3冊）、信太郎の受講ノート「Hitoire générale III」

会場案内

南大塚地域文化創造館
〒170-0005　東京都豊島区南大塚2-36-1
電話：03-3946-4301
●「東京メトロ　丸ノ内線　新大塚駅」
　1番出口より徒歩8分
●「JR山手線　大塚駅」（南口）より徒歩5分
●「都電荒川線　大塚駅前」より徒歩5分
●都バス「大塚駅」停留所より徒歩5分（都02、上60）

南大塚地域文化創造館　京都大学人文科学研究所HP　鈴木信太郎記念館HP

南大塚地域文化創造館



〒170-0005　東京都豊島区南大塚 2-36-1

鈴木信太郎記念館はシンポジウム会場から徒歩10分程の場所に所在します。お時間のある方は閉会後（または開会前）にぜひお立ち寄りください。